

令和8年度当初予算案 1.0億円（1.0億円） ※（）内は前年度当初予算額

※令和5年度補正予算額 4.5億円
令和6年度補正予算額 2.4億円

1 事業の目的

- 都道府県は、第8次医療計画（令和6年度～令和11年度）の取組や地域医療構想の取組の推進のため、医療提供体制の構築を着実に進めるとともに、構築した体制についてPDCAサイクルを実施するため、ロジックモデル等を活用し医療提供体制に関する評価・分析を行う必要がある。
- 地域医療構想策定には、**地域の現場感覚とマッチしたデータ分析**が必要であるため、都道府県における**データ分析体制の構築**を支援。
- 分析事例を集積し、**分析体制のベストプラクティス**を検討・実践することで、計画策定に限らず、地域医療構想の推進について、都道府県が**自主的に分析・企画・立案できる体制**の整備に繋げる。
- 当事業の実施状況を**より多くの都道府県に横展開**し、事例の集積を図る。

2 事業の概要

- 都道府県を対象に、**都道府県におけるデータ分析チームの構築**を支援する。
- 都道府県は、データ分析チームを活用し地域（二次医療圏、構想区域）の詳細分析やロジックモデル等を用いた医療提供体制に関する評価・分析を行うことで、**一層地域の実情に即した地域医療構想の評価**が可能となる。
- 都道府県は、分析体制や分析結果、計画策定におけるデータに基づく議論の成果について事例発表を行い、**取組の横展開**や**事例の集積**を図り、次年度の実施要領に反映。

3 事業スキーム・実施主体等

補助基準額：1個所当たり20,000千円 補助率：定額
実施主体：都道府県 負担割合：国10/10

分析体制・分析手法の実践、分析体制の構築、事例の横展開・集積

分析体制の検証と活用

